

1

公
認

アスレティックトレーナー
専門科目テキスト

アスレティック
トレーナーの役割

第1章 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー(JSPO-AT)とは

▶ 1. 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー(JSPO-AT)とは	2
1 JSPO-ATとは	2
2 JSPO-ATのコンピテンシーを支える知識と実践力	3
3 JSPO-ATのコンピテンシーと隣接専門領域との連携	3
4 ハイパフォーマンスからアクティブライフまで	4
5 JSPO-ATへの学び	4
▶ 2. JSPO-ATの資格制度	6
1 日本スポーツ協会におけるJSPO-AT資格の立ち位置	6
2 JSPO-ATの養成, 登録認定, 更新	6
3 公認スポーツ指導者制度におけるアスレティックトレーナー資格の変遷	7
▶ 3. JSPO-ATの教育	16
1 JSPO-AT教育課程とカリキュラムの概説	16
2 改定カリキュラムの概説	17
3 免除適応コースにおける各科目の講師基準と教員に求められること	20
▶ 4. JSPO-ATの歴史	21
1 日本のアスレティックトレーナーのはじまり	21
2 米国のアスレティックトレーナー	22
3 日本のスポーツとトレーナー	23
▶ 5. 海外のATおよび関連資格	29
1 諸外国におけるATに相当する制度	29
2 国際認定スポーツ理学療法士	34
3 ストレングス系	36

第2章 JSPO-ATのコンピテンシーに応じた業務と運営

▶ 1. 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防	40
1 JSPO-ATの役割としての安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防	40
2 JSPO-ATが担う安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防に必要なとする素養	40
3 学習のポイント	41
▶ 2. コンディショニング	44
1 JSPO-ATの役割としてのコンディショニング	44
2 JSPO-ATが担うコンディショニングに必要なとする素養	44
3 学習のポイント	45
▶ 3. リコンディショニング	47
1 JSPO-ATの役割としてのリコンディショニング	47
2 JSPO-ATが担うリコンディショニングに必要なとする素養	47
3 学習のポイント	48
▶ 4. 救急対応	50
1 JSPO-ATの役割としての救急対応	50
2 JSPO-ATが担う救急対応に必要なとする素養	50
3 学習のポイント	52

第3章 JSPO-ATの活動と倫理および運営管理

▶ 1. スポーツ指導者としてのATの倫理と責任	54
1 倫理とは	54
2 スポーツ指導者としてのJSPO-AT	54
3 JSPO-ATの倫理	54
▶ 2. アスレティックトレーナーの法的諸問題	60
1 アスレティックトレーナーの役割と活動領域の拡大	60
2 アスレティックトレーナーの業務範囲と法律の規制	61
3 裁判例からみるアスレティックトレーナーの法的な義務	63
▶ 3. リスクマネジメント	67
1 リスクマネジメントの視点とJSPO-ATの業務	67
2 練習・試合の前の段階のリスク	69
3 スポーツ活動中のリスク	70
4 危機管理（事後の対応）	71
5 その他のリスクマネジメントにおけるポイント	72
▶ 4. JSPO-ATの活動環境	74
1 JSPO-ATの活動場所	74
2 競技活動が行われる場所での活動に必要な設備・備品	74
3 ATルームでの活動	76
4 通常の活動場所ではないところでの活動	80
5 JSPO-ATの活動環境	81
▶ 5. アスレティックトレーナーの新たな職域	82
1 コンディショニング, リコンディショニングにおける アスレティックトレーナーの役割	82
2 競技スポーツにおけるコンディショニングサポート	83
3 競技スポーツ以外でのアスレティックトレーナーの活躍の場	83

第4章 JSPO-ATの安全と健康管理, セルフマネジメント

▶ 1. 健康管理	88
1 JSPO-ATが担う健康管理とは	88
2 ATの健康問題	88
3 JSPO-ATの健康問題がプレーヤーやチームに与える影響	89
4 JSPO-ATの活動における健康問題のリスクと改善に向けたポイント	89
5 JSPO-ATの健康問題改善に向けた取り組み	91
▶ 2. スポーツ現場で留意すべき感染症概論	96
1 感染症と伝播様式	96
2 感染性病原体の伝播予防	96
3 スポーツ現場で特に留意すべき感染症	98
4 ワクチンで予防可能な感染症	101
▶ 3. メンタルヘルス	103
1 メンタルヘルスとは	103
2 セルフケア：自分の健康は自分で守る	103
3 早期発見のために必要な精神疾患に関する知識	105

第5章	スポーツ医・科学チームとスタッフ	
▶ 1.	スポーツ医・科学チームとスタッフ，チーム連携と役割	112
1	スポーツ現場で求められる JSPO-AT の役割とコンピテンシー	112
2	医学スタッフとの関係	113
3	科学スタッフとの関係	114
4	コーチとの関係	114
5	スポーツ現場における JSPO-AT の立ち位置	115
▶ 2.	JSPO 公認スポーツドクター	116
1	スポーツドクターの役割	116
2	わが国のスポーツドクター制度	116
3	スポーツ医学の今後	118
▶ 3.	JSPO 公認スポーツデンティスト	119
1	スポーツデンティストの資格特性	119
2	スポーツデンティストの教育カリキュラムと認定制度	119
3	スポーツ医・科学チームにおけるスポーツデンティストの役割	119
4	JSPO-スポーツデンティストの活動	120
▶ 4.	JSPO 公認スポーツ栄養士	122
1	スポーツ栄養士の資格およびスポーツ医・科学チームにおける役割	122
2	スポーツ栄養士資格の教育および認定制度	123
3	JSPO-AT とスポーツ栄養士の連携	124
▶ 5.	JSPO 公認スポーツ指導者資格	126
1	スポーツ指導者基礎資格	126
2	競技別指導者資格	126
3	フィットネス資格	126
4	マネジメント指導者資格	126
5	JSPO-AT と公認スポーツ指導者との関係	127
▶ 6.	JADA 公認スポーツファーマシスト	129
1	公認スポーツファーマシスト認定制度	129
2	カリキュラム	129
3	注意すべきアンチ・ドーピング規則とスポーツファーマシストの役割	129

第6章	エビデンスに基づいた運営 (EBP)	
▶ 1.	エビデンスを基盤とした運営	134
1	エビデンスに基づく医療 (EBM) とは	134
2	エビデンスに基づく実践 (EBP) とは	134
3	アスレティックトレーニングにおける EBP	135
▶ 2.	学術活動とエビデンス	141
1	EBP と学術活動	141
2	全米アスレティックトレーナー協会のポジションステイトメント	141
	発展的学習項目	
3	推奨度を判定する SORT	142
	発展的学習項目	
4	SORT によるエビデンスの分類	143
5	アスレティックトレーニングにおける EBP の課題	143

▶ 3. 研究事例解釈	146
1 アスレティックトレーニングに関する EBP 研究	146
▶ 4. JSPO-AT と研究	150
1 JSPO-AT と研究	150
2 JSPO-AT が研究を行う意義	150
3 研究を進めるためのプロセスと留意点	151
4 研究と倫理	154
5 JSPO-AT による研究の具体例	155
▶ 5. JSPO-AT の生涯教育	159
1 スポーツを取り巻く様々な変化	159
2 JSPO-AT に求められる知識・技能および思考・態度	159
3 生涯教育の目的	159
4 生涯教育の内容	160
5 生涯学習の方法	162
▶ 6. 学会との連携	167
1 国内のスポーツ医・科学系学会	167
2 日本アスレティックトレーニング学会	168
3 海外のスポーツ医・科学系学会	169
4 World Federation of Athletic Training & Therapy (WFATT)	170
5 National Athletic Trainers' Association (NATA)	172

第7章 関係者・対象者とのコミュニケーション

▶ 1. 関係者とのコミュニケーションと留意点	176
1 プレーヤー	176
2 指導者・スタッフ	178
3 学校現場, 教育者	182
4 保護者	185
5 競技団体	188
6 都道府県体育・スポーツ協会	194
▶ 2. 対象者の特性とコミュニケーション	199
1 子ども	199
2 高齢者	201
3 女性	207
4 障がい者	210

索引	214
----------	-----